

病院統合再編 整備基本構想を決定しました

●お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-15704

3月30日、市立酒田病院と県立日本海病院の統合再編に向けた第2回協議会が、県知事、酒田市長が出席し、県庁で開催されました。

2月9日の運営委員会で整備基本構想案を取りまとめた後に、市議会・県議会での議論や地域説明会、出前講座、庄内地域医療懇話会、ホームページ等で県民・市民の皆さんからいただいた意見を踏まえて見直しを進めてきました。

この日の協議会で、県知事は「この統合再編の協議については、県と市で同床異夢になるのではという心配の向きもあったが、この構想が出来上がったことで安心して進めることができる。特に次の点が修正されより良いものになった。①救命救急センターの対象地域に最上地域の一部も含めることで高度医療を全県的にカバーできることになったこと ②病床数が少なくなるといふ心配に対しい具体的な数



具体的な数

値・図を示しながら明確に込んでいること ③3月から運用が開始された日本海病院の新総合医療情報システムなどを活用して、地域医療との連携をさらに推進できること」と発言。市長は「スピード感を持って整備を進めると同時に、時期をとらえて情報をしっかりと提供し、引き続き県民・市民の声を聞く姿勢を常に持つてほしい」構想では、待ち時間の不安解消にもしっかりと回答している」と発言。県知事・市長により「山形県・酒

田市病院統合再編整備基本構想」が決定されました。統合再編は、この構想に基づき進めることになります。

◆整備基本構想は、市ホームページ（アドレスは裏表紙参照）に掲載しているほか、市役所1階総合案内・2階企画調整課、各総合支所窓口で配布しています。

病院統合再編Q&A

Q 統合病院での医師確保は大丈夫ですか。

A 医師を確保するためには、医師にとつて魅力ある病院にすることが重要であるため、統合病院では、医師の適正配置や医療技術の向上に係る研修等に対する支援の充実を図ります。また、急性期病院としての機能強化や救命救急センターの設置により、医師が一層高度で専門的な医療に携わる機会が増え、診療への意欲が向上することが期待され、医師確保にもつながるものと考えています。

主治医については、患者の視点からも、両病院の医師が継続して勤務していただけることが重要で

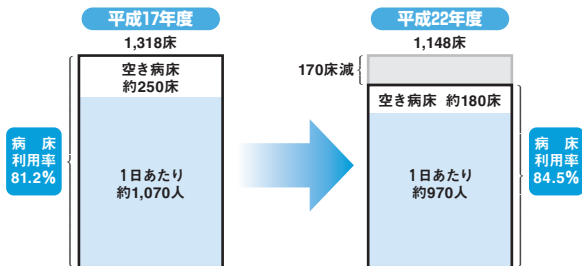
す。今後も両病院に勤務している医師の理解、関係機関の協力を得ながら、現在と同程度の医師数を確保するよう努め、市民の皆さんに安心していただけるよう取り組んでいきます。また、看護師等の医療スタッフも、必要人数を確保していきます。

Q 統合病院の外来の診察は混雑したり、待ち時間が増えたりしませんか。

A 統合病院に外来患者が集中することが考えられますので、来院から受付・診察・会計までの一連の外来機能の見直しを行うとともに、医師の十分な配置や診察室の増設などを検討していきます。また、駐車場も、新病院の整備完了までに患者数の動向を見ながら必要に応じて整備していきます。

一方で、統合病院の急性期医療機能を十分発揮するためには、これまで以上にほかの病院や開業医等と機能分担と連携強化を行っていく必要があります。このため、今年度策定する整備基本計画の検討過程の中で、こうした地域連携のあり方を医師会等と協議していきます。

北庄内における一般病床の入院患者数と病床数



平成17年度の1日当たり入院患者数は約1,070人、病床数は1,318床、空き病床数約250床。平成22年度の統合再編時点では、1日当たり入院患者数が約970人と見込まれるが、運用上の余裕が約180床あり、病床数の合計は1,148床。この結果、必要病床は確保される（必要病床数の算定については、本紙3月1日号9ページに掲載）。